

「第36回中国ミニバスケットボール交歓大会（平成28年12月23日～25日）に出場して

豊浦スポーツ少年団ミニバスケットボール

僕たち豊浦ミニバスケットボールは、3年ぶりの中国大会出場でした。1日目は、五日市観音と清音と対戦しました。両チームとも僕たちより身長が高く、思うように試合ができませんでした。みんな最後まであきらめることなくディフェンスを頑張りました。

2日目の上小鴨戦も負けてしまい中国大会では1勝もできませんでした。今までいっしょに練習してきたみんなと中国大会に出場できたことは、とても良い経験になりました。

これまでたくさんの人に応援してもらいありがとうございました。これからも次の目標に向かって練習をがんばります。

主将 # 4 佐甲 陽

私がコーチについて2年、選手たちにとっても私にとっても初めての中国大会に、期待と不安でいっぱいでした。

選手たちが萎縮しないかどうか心配でしたが、その心配もなくとてもリラックスした状態で大会に臨めました。

大会1日目。予選リーグの1試合目の相手は、今大会を制した広島県の五日市観音ミニバスとの試合。終始自分たちの流れを掴めず、敗戦。

予選リーグ2試合目、五日市観音ミニバスと1点差の勝負をした、岡山県の清音ミニバスとの試合。170cm台の選手が3人もいる大型チームでしたが、必死にディフェンスで食らいつき、前半終わって5点ビハインド。しかし、後半で相手の高さとスピードに圧倒され敗戦したものの、1年間たくさん練習してきたディフェンスで良い試合ができました。

大会2日目。交流戦で上小鴨ミニバスとの試合。「山口県の代表としてお世話になった人や友達、ライバルに感謝して戦ってきなさい。」と選手たちをコートに送り出しました。試合結果は負けはしましたが、今まで一緒に戦ってきたベンチメンバーもみんなコートに立てて、とても良い試合でした。

私は、この中国大会の舞台に立たせてくれた選手たちに本当に感謝しています。そして大会を準備、運営してくださった皆様、審判部の皆様、いつも温かく見守ってくれる保護者の皆様、応援して下さった皆様にあらためて感謝し、中国大会の報告とさせていただきます。

ヘッドコーチ 迫田将太

第36回 中国ミニバスケットボール交歓大会(山口大会)

平成28年12月23日～25日

キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター

